

フォークリフトを起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	3	0～1	倉庫内で、フォークリフトに積んだパレットを高さ2メートル30センチまであげ、そのパレット上でワイヤーロープをアングルにかけているときに、地面に墜落した。	30105	10～29
1999	3	10～11	倉庫から商品の品出し、ピッカーに乗って床から2.8Mの高さまで上昇し、商品棚の3段目に置いてあった日本酒のビンを取り出す作業を行っていて1階の床に転落した。	50101	10～29
1999	5	14～15	ダンプ置場に仮設の雨除けテントを設置するため、フォークリフトに大根用のパレットを取りつけてその上で作業を行い、次の場所に移動させるためにリフトを下げていたときに乗っていたパレットが急に傾き、舗装面にパレットとともに転落した。	10109	1～9
1999	7	23～24	ダストボックスをフォークリフトのアタッチメントで挟んで持ち上げ汚泥ピットへダストを廃棄しようとフォークリフトを前進させ、ダストボックスをリフトで1.5m程上昇させた時、フォークリフトが傾き始め、汚泥ピット内へフォークリフトとともに転落した。	150102	50～99
1999	10	9～10	工場倉庫内で、ハイピックリフト(運転台も昇降するフォークリフト)のフォークを地上から3.8mの高さに停止させ、台上の袋(25kg)を降ろそうとしたときに墜落した。	11403	100～299
1999	10	14～15	フォークリフトによる建築資材のトレーラーへの積込作業が終了し荷台から降りるのに、フォークリフトのフォークに差し込んだパレットに乗ったときに、フォークリフト運転手がフォークリフトを後進したため、パレットから2.6メートル下のアスファルト舗装面に墜落した。	10901	10～29
		0	冷凍庫内の棚(4段目)の段ボール入り冷凍食品を整理するため、ピッキング		

1999	10	～ 1	フォークリフトに乗り、高さ約2.7mまで上昇して、運転台に設けられている可動式手すりを外した状態のまま作業したためコンクリート床に墜落した。	80109	50～ 99
2000	2	9 ～ 10	トレーラー上の運搬用コンテナ(地面から1.7m)に金属棒(長さ1.9m、重さ71Kg、直径約8cm)をフォークリフトで積込む作業で、金属棒をフォークリフト(2.5t)の爪からコンテナ内に入れる作業をしていて体のバランスを崩してコンテナから地面に墜落し、そのときに腹部に金属棒が落下してきた。	150103	10～ 29
2000	12	14 ～ 15	冷凍庫内において、フォークリフト(最大荷重950kg)のパレットに乗ってラックの最上段(3段目で高さ約4m)まで昇り、冷凍食品3個(計18Kg)をパレット上に移して下降中に誤って約3m下に墜落した。	80401	10～ 29
2000	1	9 ～ 10	食品工場構内において、10tトラックの荷台の高さ(1.4m)まで上げたフォークリフトの木製パレット上で積荷(200?ドラム缶25本)の荷卸し作業中、パレットの端で体勢を崩してドラム缶と共に地面に転落した。	40301	50～ 99
2000	3	18 ～ 19	プラットホームでフォークリフトをバックで運転していたときに、高さ4cmの車止めを乗り越えて81.5cmの高さのプラットホームの端からフォークリフトごと転落し、ヘットガードに胸を挟まれた。	80101	100 ～ 299
2000	2	0 ～ 1	倉庫2階に置かれていた材料を2階の窓からフォークリフトを使用して搬出するため、フォークリフトのフォークに差込まれたパレット上(高さ約4m)で作業を行っていたときに墜落した。	11509	10～ 29
2000	7	9 ～ 10	フレコンバックに掘削廃土を詰めてフォークリフトで運搬する作業で、廃土を積み込む指定位置にフォークリフトを移動させるため方向転換させたときに、法肩の土のう袋を乗り越え転落(90cm)しフォークリフトの下敷きになった。	30199	1～9
2000	3	14 ～ 15	生コン製造プラントのメンテナンス作業で、フォークリフト(2.5t)に木製パレットを乗せてその上に乗り1.45m位パレットを上げて作業を行っているときに墜落した。	10901	10～ 29
		15	積載形移動式クレーン(2t)にアルミ製の渡板2本を掛けてフォークリフト(積		

2000	5	～ 16	載荷重1. 8t)をバックで荷台に積み込み作業中に運転席側の渡板が外れ、フォークリフトが傾きかけたので脱出しようとしたときにフォークリフトが転落してきてその下敷きとなった。	30202	10～ 29
2000	8	～ 16	高さ1. 23mのプラットホーム上で、フォークリフト(最大荷重2t)を運転してタイヤ10数本を運搬していて当該プラットホームからフォークリフトとともに転落してフォークリフトの下敷きになった。	40301	1～9
2000	12	～ 10	H鋼4本(12m1本と9m3本)をフォークリフトで4tトラックに積み込んでいるときに、フォークからH鋼(12m)が落下したため、トラック上で補助を行っていた者がH鋼とともに荷台から1. 15m墜落した。	80109	10～ 29
2000	11	～ 10	倉庫内の照明用水銀灯の電球取り替え作業をフォークリフトのフォークにパレットを21段積み上げた上で行おうとして、パレット9枚とともに高さ約9mの位置から墜落した。	30203	1～9
2000	1	13 ～ 14	物流センターの倉庫内でダンボールの抜き取り作業を行うため、1. 5tのフォークリフトのパレット上で、高さ4mの位置にあるダンボール(重量：32kg)をパレットに移そうとしたときに、パレットから3m下の床面に墜落した。	50101	50～ 99
2000	9	～ 10	トラックターミナルの高さ83cmのプラットホーム上でバッテリー式フォークリフト(積載荷重1t)をバックで走行していたときに、フォークリフトとともに転落した。	40301	100 ～ 299
2001	2	～ 19	床面より高さ約5mの位置に取付けられた工場の部品置場を示す表示板の取外しを行うため、パレットをフォークリフトに取付けたパレットに乗りバックで走行していてパレットごと落下した。	11502	10～ 29
2001	10	8 ～ 9	倉庫で、当日出荷予定の製品をピッキングトラックで移動する作業を行っていたときに、ラック4段目(高さ約5m)から荷とともに墜落した。	50101	1～9
2001	10	～	フォークリフトで現場内の型枠材を集積場に運搬していたときに、フォークリフトが鉄板通路の端から掘削した深さ1. 3mの地中梁基礎床に車両とともに	30201	10～ 29

		16	に転落し、掘削法面と車両との間にはさまれた。		
2001	11	9 ～ 10	工場の高さ約4mの梁をペンキ塗装するため、フォークリフトのフォークに差してあるパレットに乗り、同僚にフォークを上昇させてもらってフォークリフトを前進させたときに、バランスを崩し地面に墜落した。	10801	30～ 49
2001	10	9 ～ 10	リーチフォークリフトで荷役作業を行っていた者が、フォークリフトの後側で転落して倒れていたところを発見された。	40409	1～9
2002	3	16 ～ 17	倉庫内でフォークリフトを用いて荷出し作業中、高さ3.2mの運転席から転落し頭部を強打した。	50101	50～ 99
2002	4	10 ～ 11	物流センターの底下（高さ約5.6m）に吊下型水銀灯取付けのため、フォークにパレット6段を積みその上に乗って作業を行い、安全帯を外してリフトが下がるのを待っていたところ、オペレーターが操作レバーを間違えフォークリフトを前進させたため、バランスを崩し墜落した。	30301	1～9
2002	3	13 ～ 14	倉庫内で、フォークリフを使用して18パレットのうち17パレット目をエレベーターに搬入したのち倉庫内をバックで走行してプラットホームまで来たときに、プラットホームから約1m下の地面にフォークリフトとともに転落し、地面とヘッドガードとの間に頭部を挟まれた。	50101	10～ 29
2002	6	17 ～ 18	オーダーピッキングトラック（運転席と荷役装置が一緒に上下動するフォークリフト）を使用して、約4mの高さの位置で隣接する商品棚にあった商品を取ろうとしていたときに、運転席から墜落して床面に頭部を激しく打ちつけた。	40301	10～ 29
2002	6	9 ～ 10	フォークリフトのフォークにパレットをセットしてその上で高さ635cmの棟梁に鉄骨部材の取り合いプレートをアーク溶接し、作業を終ったので運転者がフォークを降下させたとき作業員から安全帯を外すのを忘れたとの声がかかったので約1m下降させて停止し、作業員がフックを筋かいから外そうとしたときに、筋かいが折れたため4m下の地面に墜落した。	30201	10～ 29

2002	8	11 ～ 12	倉庫内の床清掃に邪魔になる木材の束を2.5tのフォークリフトにより屋外へ仮置きする作業で、最初に運び出した木材の上に次の木材を載せるため運転席を降りて最初の束の上に台木を置き、再びフォークリフトの運転席へ乗り込もうと前輪カバーに足をかけたときに転落して頭部をアスファルト床に強打した。	80109	10～ 29
2002	6	7 ～ 8	物流センター構内で、バッテリー式フォークリフト（最大荷重0.9t）を運転中、高さ1mのプラットホームからフォークリフトとともに後方）から墜落し、地面とフォークリフトのヘッドガードとの間に挟まれた。	50101	1000 ～ 9999
2002	10	11 ～ 12	フォークリフトで廃材（鉄骨材）をトラックに積み込む作業中、フォークリフトが深さ約80cmのくぼ地に後部から転落しフォークリフトの下敷きになった。	150103	1～9
2002	11	11 ～ 12	フォークリフトのパレットに縞鋼板2枚を積載してプラットホーム（幅員3.77m）上を走行してピットまで運搬し、プラットホーム上の縞鋼板残材の手前で一旦停止したのち、残材を避けながらフォークリフトを前進させ左旋回したときに、右後輪がプラットホームの端で脱輪し、フォークリフトごと56 c m下の線路へ転落してヘッドガードと線路との間に挟まれた。	11503	1000 ～ 9999
2002	4	17 ～ 18	フォークリフト（最大荷重0.43 t）で入荷商品を所定の棚に収納していて、パレットと3段目棚板（高さ3.2m）を跨いで缶詰の箱（約20 k g）の積替えをしていたときに、バランスを崩してコンクリート床に墜落した。	80109	10～ 29
2002	11	13 ～ 14	フォークリフト運転技能講習資格取得のため、社内研修を工場内ストックヤードで指導員から受けていて、フォークリフト（最大荷重1.5 t）を運転してストックヤードと構内道路の境界部分の段差（約30 c m）を避けようと左に急転回したところバランスを崩し横転し、フォークリフトのヘッドガードの下敷きとなった。	10105	50～ 99
2002	12	9 ～ 10	倉庫内で棚卸作業を行うため、フォークリフトの爪にパレット差し込んでそれに乗り、高さ4.9mの棚上にある製品数を確認しているときに足を踏み外して墜落した。	10701	30～ 49
			物流センターの一階倉庫（主に酒類置場）において、フォークリフト（オー		

2002	12	20 ～ 21	ダーピッカー）を使用して商品ラック4段目にあった商品を取ろうとしていたときに、運転席（高さ3.04m）からコンクリート製の床面に墜落し頭部を強打した。	80101	100 ～ 299
2003	4	19 ～ 20	納品先の工場内で、製品である架台を仮組してボルト穴の穴あけをする作業のため、フォークリフトの爪にパレットを敷いて穴あけ機とともに乗り込み高さ約2.2mの位置までパレットを上げさせたときに、バランスを崩してパレットから墜落した。	11209	1～9
2003	6	8 ～ 9	倉庫屋上から荷物を下ろすため、フォークリフト（最大荷重1t）を高さ3.55mの屋上に上げ、その後、倉庫屋上でフォークリフトに乗り込みエンジンを掛けたが動かないため、クラッチワイヤを見ようとしたときに車体がゆっくりとバックし、ブレーキが故障していて効かず、フォークリフトとともに地面に墜落した。	80209	1～9
2003	7	18 ～ 19	テーブルリフターでフォークリフト（リーチ式：最大荷重3t）をプラットフォーム上へ移動する作業で、テーブルリフターをプラットフォーム（高さ1.1m）の高さまで上昇させてフォークリフトを前進させたところ、運転操作を誤ったためフォークリフトが後進しフォークリフトとともに転落した。	10701	300 ～ 499
2003	8	9 ～ 10	精錬棟2階の荷揚場改造工事で、2名がフォークリフトのパレット上に乗り、長さ約3m、重さ約44kgの鋼材をフォークリフトの上方にあった安全バー上に仮置きしたときに鋼材が安全バーから落ち、2名ともバランスを崩して約6m下の1階床に墜落し1名が死亡した。	10806	100 ～ 299
2003	9	9 ～ 10	取引先でフォークリフトを運転して後進中に、事業場内にある約3m下の河川にフォークリフトとともに転落した。	40301	30～ 49
2003	11	9 ～ 10	工場内で、ピッキング作業（棚から指定された製品の棚卸作業）をピッカー（荷とともに運転席も上昇するフォークリフト）で行っていて、最上限（高さ3m68cm）までリフトを上げてパレット上に製品を積み込む作業を終えたときに、運転席の手すりをはずしていたため、運転席から床に転落した。	80401	10～ 29

2004	10	9 ～ 10	倉庫内の出荷作業で、製品を積むパレットの上に乗って、フォークリフトで3mほどの高さに昇り、製品棚から製品を取り出す作業を行っていたところ、パレット上から3m下の床に転落した。	50101	10～ 29
2004	10	9 ～ 10	事業場構内天井部の蛍光灯を交換する作業のため、フォークリフトに積載された18段のパレット上で作業していたところ、パレットの上でバランスを崩し、約5m下の地上に墜落した。	40301	10～ 29
2004	8	17 ～ 18	清掃の終わった大根の皮むき機を台の上にフォークリフトで乗せる際、安定が悪かったので、被災者がフォークの上に乗って支えていたところ、当該皮むき機がバランスを崩し転倒・落下、被災者はそれを支えようとして当該皮むき機とともに転落した。	10109	100 ～ 299
2004	7	15 ～ 16	被災者は、同僚1名と建物天井部の照明器具取付け作業を行うため、ケーブルを天井に沿って引いていた。同僚がフォークリフトを操作し、被災者はフォークリフトのフォークに木製のパレット7段を積み、上昇させたフォークのパレット上（地上からの高さ4.48m）で作業を行っていたが、コンクリートの床面に墜落した。	30301	1～9
2004	1	16 ～ 17	揚貨装置により、作業に使用した4.5tフォークリフトを沿岸につり上げるための玉掛け作業をしようとした時、フォークリフトのタイヤガード（高さ約95cm）からバランスを崩して墜落した。	50202	50～ 99
2004	8	8 ～ 9	工場のヒサシを取付ける工事において、フォークリフトで上昇させたパレット上でネットのワイヤロープの取外し作業を行っていたところ、被災者が墜落した。	30201	1～9
2004	9	11 ～ 12	自社の低温倉庫の改築工事中、フォークリフトでリフトアップしたパレット上に乗る、天井部分に断熱材を貼り付ける作業を行っていたところ、バランスを崩し、約4.5m下のコンクリートの床に転落した。	80209	1～9
2004	2	19 ～ 20	工場内において、不要機械設備の撤去作業が終り、既設棟と新棟を仕切るために設置してあったブルーシートの復旧作業を終え、フォークリフトに設置した高所作業台を下降していたところ、高さ2.1mのところで高所作業台のバランスが崩れ、搭乗していた被災者が高所作業台とともに墜落した。	30302	1～9

2005	8	4 ～ 5	漁船から鮮魚を荷下ろしするために、フォークリフトで事業場を出発し河川敷沿いの道路を走行中、路肩から2m下の河川敷に転落し、フォークリフトの下敷きとなった。	70201	10～ 29
2005	5	0 ～ 1	倉庫2階でフォークリフトを旋回しようとして後進したところ、荷物用エレベーターに衝突して、鋼製ドアを突き破り、8.4m下の1階に墜落した。	170209	10～ 29
2005	3	15 ～ 16	フォークリフトで構内道路を走行中、下りスロープとなった構内道路の路肩に寄り過ぎたため、フォークリフトごと40cmの段差を転落、横転したフォークリフトの下敷きとなった。	50101	10～ 29
2005	8	22 ～ 23	フォークリフトにより後進中、フォークリフトごとプラットフォーム端から地上へ転落し、座席から投げ出され、直後に横転したフォークリフトの下敷きとなった。	40301	100 ～ 299
2005	12	14 ～ 15	フォークリフトをセルフローダーに積み込む作業中、道板からタイヤがずれてフォークリフトが転落し、被災者がフォークリフトの下敷きとなった。	40301	50～ 99
2005	9	17 ～ 18	印刷インキ製品のピッキング作業において、フォークリフトの爪に挿したパレット上で、貯蔵ラックにある製品を取り出す作業をしていたところ、墜落した。	10808	30～ 49
2005	1	17 ～ 18	製品を自社トラックに積み込み作業中、パレットをフォークリフトで3mの高さに持ち上げ、その上で作業を行っていたが、バランスを崩し地上に墜落した。	40301	10～ 29
2005	3	9 ～ 10	型枠資材の廃材を資材置場よりフォークリフトで焼却場へ運搬し、フォークを上下に揺すって廃材を振り落としていたところ焼却ピットへフォークリフトとともに転落した。	30201	50～ 99
2006	1	10 ～	短辺1m長辺2m高さ2.7mの15段重ねにした金属製パレットをフォークリフトのフォークに載せ作業床とし、当該作業床に被災者を乗せ高さ約3mまで上げた状態で、長さ4.4mの木製棒を用いて高さ7.1mの倉庫の	40301	30～ 49

		11	屋根の軒先の雪落とし作業を行っていたところ、落下した雪が被災者に当たり当該作業床から墜落した。		
2006	3	17 ～ 18	中古船展示場において、看板取付け作業を3名で行い、その後看板の取付け状況を確認するためパレット上に被災者を乗せてフォークリフトで上げたところ、被災者がそのパレット上（高さ約3メートル）から墜落した。	11501	1～9
2006	3	12 ～ 13	倉庫内において、フォークリフトを運転し、パレット積みした商品を出荷場へ運ぶ作業中、高さ94センチメートルのプラットホームからフォークリフトと共に地面へ転落した。	50101	1～9
2006	4	16 ～ 17	被災者は、倉庫内にて、パレットラックの2段目（高さ約2.8m）に保管していたプラスチックコンテナ（重量約15kg、パン原材料）を降ろすため、フォークリフト（1.5t）の爪に差込んだパレットを作業床として作業を行っていたところ1.3mの高さから転落した。	40301	30～ 49
2006	4	13 ～ 14	倉庫内において、フォークと共に運転席が上昇・下降するフォークリフト（最大荷重450キログラム）を使用して、運転者及び被災者の2名が、倉庫内の棚から商品を取り出す作業を行っていたところ、商品を載せたフォークの先端に乗っていた被災者が約2.4メートル下の床に墜落した。	80409	10～ 29
2006	6	14 ～ 15	コンクリートミキサー車のミキサー内に付着したコンクリートのはつり作業が終了したので、被災者は、ミキサー内に入出入りするために持ち上げていたコンクリート投入ホッパーを降ろすため、ミキサー車のステージまたはフォークリフトのフォーク部にパレットを差込み足場として使用していたところから墜落した。なお、ステージ及びパレットの高さは地表から2.6メートル。	10909	1～9
2006	10	17 ～ 18	加工場内の冷蔵庫において、フォークリフトで上昇させたパレット上で作業を行ない、墜落しフォークリフトの横に倒れているのが発見された。	80109	30～ 49
2007	12	～	事業場の工場兼倉庫内において、被災者がフォークリフト脇で倒れているのを同僚が発見した。フォークリフトを使用して石油ストーブを工場天井裏にある物置に収納しようとして、積み上げてある段ボールにうまを立てかけて	10602	1～9

		16	段ボール上に上がり、そこからパレット上に乗り移って作業を行おうとし、墜落したと思われる。		
2007	9	17 ～ 18	物流倉庫において、ピッキングフォークリフト（運転席がフォークの爪ととも に上下する）で倉庫の棚の荷物をとろうとしていた作業者が、運転席部 （高さ4.35m）より通路床面に墜落した。	10805	50～ 99
2007	3	14 ～ 15	運送先工場内のプラットホームにおいて、印刷物をフォークリフトを使用 し、トラックに積み込む作業を終えたところ、フォークリフトのハンドル操 作を誤り、プラットホームからフォークリフトと共に転落した。	40301	50～ 99
2007	11	17 ～ 18	倉庫5階において、被災者が出荷業務に就いていたところ、運転席が上下す るフォークリフト（ピッカータイプ）の運転席部分から約4m下に墜落し た。	170101	100 ～ 299
2007	11	11 ～ 12	バケットアタッチメントを取り付けたフォークリフトを運転し、ホッパー付 近まで走行したところで同僚の合図により一時停止をした後、バケット内の 不燃ごみをホッパーに投入するためさらに前進したところ、フォークリフト ごとホッパー内（深さ1.3m）に転落した。	150103	30～ 49
2007	4	16 ～ 17	被災者は5階冷凍庫から荷をリーチフォークリフトを使用して、エレベー ターに積む作業をしていた。荷を積んでいないリーチフォークリフトを運転 中、エレベーターに後部から激突し、衝撃によりエレベーターの戸（左右開 き）を昇降路内に押し込み、その結果、戸にできた隙間より昇降路内へ落 ち、1階停止中のエレベーター搬器天井に墜落した。	50101	100 ～ 299
2007	9	10 ～ 11	事業場敷地内にある倉庫1階において、フォークリフトを使用して品出し作 業を行っていた。スチール棚の3段目に積んである商品を取り出すために フォークリフトのフォークに乗り、高さ約2m弱の位置まで上がり作業を 行っていたところ、バランスを崩し床に転落した。	80401	50～ 99
2007	9	11 ～ 12	被災者は、肥料（1袋20kg）の袋を店頭に設置された3段式の陳列棚の 2段目に陳列する作業において、フォークリフトで持ち上げられた当該肥料 が積まれているパレットに乗り、陳列棚上で作業している他の作業者に当該	80109	10～ 29

			肥料の袋を渡す作業中、当該パレットから1.5m下の床面に墜落した。		
2007	5	13～14	被災者ら3名は、排気ダクト設置のため、高さ約6mの屋根上にフォークリフトを使用して材料の荷揚げ作業を行っていた。高さ3mのところで、ロープで荷締めをして、屋根上にいた作業者が荷を引き上げた後に、当該リフトのフォークに乗っていた被災者が3m下のコンクリート土間に墜落した。被災者は、ヘルメット及び安全帯が未装着であった。	30302	1～9
2008	5	10～11	一般廃棄物処理施設において、解体耐火物の入ったフレコンバッグ2袋（合計1.23t）を最大荷重1.2tのフォークリフトでつり上げ、ごみピットに投入しようとしたところ、フォークリフトが前方に傾き、運転者がフォークリフトとともに約8m下のごみピットに墜落してフォークリフトのバッテリーの下敷きになり死亡した。	150109	50～99
2008	11	16～17	被災者はフォークリフトに乗り、倉庫内の2段目の棚の商品の出し入れを手作業で行おうとした際、フォークリフト上から墜落し死亡した。フォークリフトは最大積載荷重が800kgで、フォークと一緒に運転席も上昇する型であった。	40301	50～99
2009	12	15～16	被災者は、倉庫内でフォークリフト（最大荷重1.1t）のパレットの上に乗って、商品を手から取り出す作業を行っていた。パレットの高さを約2.5m上げたまま、通路を後進していたところ、パレット上の被災者が天井のシャッター部分に当たり、その反動で被災者は地面に墜落し死亡した。	80109	50～99
2009	12	13～14	出荷口ホームにおいて、最大荷重1tフォークリフト（リーチタイプ）を使用し、パレットで2段積みされた荷のうち、上部の1パレットを降ろすため、フォークに積んで後進したところ、そのまま出荷口ホームからフォークリフトとともに落下し、投げ出された被災者は落下したフォークリフトのヘッドガードと路面にはさまれた。	10104	300～499
2009	8	9	被災者がフォークリフトのパレットの上に乗って、抽出室の天井付近の冷風の出るフレキシブルホースの補修作業をしていた。フォークリフトのレバー操作をした作業者は、補修に使うガムテープを取りに行くためその場を離れたが、クラクションの音を聞いたので戻ったところ、被災者が抽出室から出	10106	100～

		10	てきて倒れるところを目撃した。発見時フォークは上昇し、マストは運転席側に傾斜していた。		299
2009	11	9 ～ 10	製品出荷のプラットフォームにおいて各配送先毎に荷物を仕分ける作業中、次の製品を取りに行くためフォークリフトを後進運転し、方向転換するためプラットフォームの端に向かって切換えた時、プラットフォームからフォークリフトとともに高さ1m下の地面に転落し、フォークリフトの下敷きになった。	10803	300 ～ 499
2009	7	17 ～ 18	当該事業場において、最大積載荷重2tのフォークリフトを運転していたところ、敷地に隣接する河川敷へ転落し、フォークリフトの下敷きになった。	70101	1～9
2009	5	8 ～ 9	被災者は、工場出入口のシャッターボックス上部の鳩の巣を確認のため、フォークリフトに挿入したパレット上に搭乗し、付近までリフトアップしてもらった。そこから、被覆電線に足を掛けのぞき込もうとしたところ、たるみ防止用に止めていたクリップが外れ、バランスを崩し約4m下の床上に転落した。	150102	10～ 29
2009	5	12 ～ 13	被災者は、班長と2人でフォークリフトを使用し、倉庫のシャッター上部（高さ約4m）に取り付けてある蠅取り紙を取り外す作業を行っていた。班長がフォークリフトを運転し、フォークリフトのフォークにプラスチック製の箱を載せ、その箱に被災者を乗せた状態でフォークを上げたところ、被災者がバランスを崩し、乗っていた箱とともに約1.7m墜落した。	10102	100 ～ 299
2010	1	10 ～ 11	新設工場の冷凍庫にて高さ6mの天井に取り付けられた冷却用配管の霜を除去するために、リーチフォークのフォークの上にプラスチック槽を載せ、その中に労働者を入れて持ち上げ、霜をスコップにて払う作業中、プラスチック槽を固定していなかったため作業時の振動などによりバランスを崩し、約4mの高さから床面に墜落したものの。	10102	100 ～ 299
		12	配送先の牧場敷地内において、トレーラー上のコンテナから梱包された干し草を降ろすため、コンテナの前に金属製の作業台を設置し、そこに金属製の		30～

2010	2	～	道板（約5 m）を2本取り付けて、フォークリフトを運転して、当該道板を	40301	49
	13		登っていたところ、道板が外れてフォークリフトが転落し、被災者がその下敷きとなった。		
2010	7	～	倉庫会社の倉庫前の路上において、A社の労働者Aが、B社の代表者Bと共に、当該倉庫建屋にある雨どい（高さ6. 55 m）を見るために、倉庫会社の労働者Cが運転するフォークリフト（最大荷重1 t）のフォークに載せた	80409	1～9
	12		パレットに乗り、地上3 mまで上がったところ、労働者AとBがパレットと一緒に墜落し、労働者Aが死亡したもの。		
2010	8	13～14	被災者は、フォークリフトを使用してコンテナ車から荷降ろし作業中にドックレベラー（プラットホームからコンテナ車への渡り板）上で幅寄せ（バックしながら右側に寄せていた）を行っていた時、右後輪がドックレベラーから脱輪したため、フォークリフトの体勢を立て直す操作を行っていたところ、プラットホーム端部から90 cm下のアスファルト路面上へフォークリフトとともに転落し、フォークリフトの下敷きになった。	40301	50～99
2010	9	8～9	被災者はフォークリフトのフォークの上に載せたプレカット材の上に乗り、高さ約4 mの高さに保管してあった埋木用の枝の束を降ろそうとしたところ、バランスを崩し、約3 mの高さから墜落したもの。被災者は安全帽を着用していなかった。	10401	10～29
2010	10	14～15	農業用機械（コンバイン）の回収のため、フォークリフトで公道を走行中、何らかの原因でハンドル操作を誤り、路肩から田んぼにフォークリフトと一緒に転落し、フォークリフトのヘッドガードに挟まれ死亡した。	11702	10～29
2010	10	11～12	製材工場内で、のこ屑集塵用のダクト（高さ4. 6 m）が詰まったため、これを改善しようと、フォークリフトのフォークに鉄製の箱（重量200 Kg）を載せ、その箱内に被災者が搭乗し、高さ3. 14 mまでフォークを上げて清掃を行っていたところ、箱がダクトのベンド部に引っかかって箱が浮き、箱がバランスを崩してフォークリフトのフォークから箱が脱落、箱とともに被災者がコンクリート床及びチェーンコンベア上に墜落した。被災者は病院へ搬送されたが死亡した。	10401	50～99

2011	3	12 ～ 13	平成23年3月28日12時15分頃、配送センター倉庫内で、労働者が ～ ピッキングフォークリフトを使用し、荷役作業に従事していたところ、高さ 3メートルから4メートルにあった運転台から墜落し死亡したもの。	40301	1～9
2011	4	15 ～ 16	倉庫内において、フォークとともに運転席が昇降するタイプのフォークリフ トの運転席に乗って、ラックに置かれた商品を取り出す作業中、4.2mの 高さから墜落した。安全帯は着用していたが使用していなかった。ヘルメッ トは着用していた。	80109	50～ 99
2011	2	13 ～ 14	被災労働者は、オーダーピッキングトラックを用いて、ピッキング作業中、 ラック3段目から、ダンボール1ケースをピッキングする際に、運転席床面 高さ約3メートルから、墜落したもの。オーダーピッキングトラック運転席 には、取り外し可能な手すりが両脇と正面に設けられているが、正面の手す りは、使用されていなかった。また、被災労働者は、安全帯は着用していた ものの、使用していなかった。	50101	50～ 99
2011	12	8 ～ 9	操作室2階の手すりを外してある開口部から、フォークリフトのパレットに 上がり、ごみの入った袋を載せていたところ、パレットが壊れ高さ4.1m から墜落し床に頭部を強打した。	170209	1～9
2011	4	13 ～ 14	事業場敷地内の木材置場の建物の梁に防鳥ネットを張るため、事業主が運転 するフォークリフトの爪上に乗せた板の束を作業床（縦約0.9m、横約 4.2m、地上からの高さ約3.5m）として、被災労働者山中俊雄を乗せ 作業をさせていたところ、事業主がフォークリフトを左方向へ後退させた 際、被災者がバランスを崩し墜落したもの。	10401	1～9
2011	12	10 ～ 11	フォークリフトを使用し作業場の照明を取り替えるため、フォークで上げた パレット上に乗り作業をしていたところ、昇降時に墜落し、マストの一部に 腹部を強打したことによる失血死と推定される。	80209	1～9
2011	1	8 ～ 9	倉庫内において、フォークの昇降と共に運転席が昇降する型式のフォークリ フトを使用して、棚に置かれている製品を降ろそうとしていた被災者が、当 該フォークリフトの運転席から約2.5メートル下の倉庫の床面に墜落し倒 れているのを、同倉庫内で他の作業を行っていた同僚が発見した。その後、	80109	10～ 29

			病院へ搬送されたものの災害発生より１０日後に死亡したものである。		
2011	4	9 ～ 10	事業主事務所兼自宅の植木が枯れてきたため、栄養剤を散布しようと被災者がフォークリフトを運転し、フォークのパレット上に噴霧器を乗せてパレットを地上から７７センチメートル上げたところで、フォークリフトを停止させた。その後、パレットの上に自らが乗り、噴霧作業を行っていたところ、フォークリフト横に倒れて頭部から出血していた被災者を発見したもの。業務上外については調査中であったが、１０月に業務上と判断した。	10109	10～ 29
2012	4	9 ～ 10	被災者は自動車解体業の事業場敷地内で、トラックに古タイヤを積み込む作業を行っていた。解体した軽トラックの荷台をパレットの代わりとしてタイヤを積み、フォークリフトにより持ち上げ、トラックの荷台に寄せた。被災者は、軽トラックの荷台の上でタイヤをトラックへ移し替えていたところ、軽トラックの荷台が転倒し、荷台とともに地面に墜落し頭部を強打した。	150102	1～9
2012	6	15 ～ 16	被災者がピッキングフォークリフトを用いて入荷した製品（反物、約14kg）の棚入れ作業に従事していたところ、高さ約2mの位置から製品とともに墜落した。なお、当該フォークリフトは運転者席が昇降するタイプのものであるが、運転者席に手すり等は設けられていなかった。	80401	10～ 29
2012	5	12 ～ 13	工場内の水銀灯交換のため、フォークリフトにパレットを13枚を重ね、その上に被災者が乗ってマストを上げ電球の交換作業をしていたところ、被災者がパレットから、約7m転落した。	11209	30～ 49
2012	10	6 ～ 7	のり採苗場において、被災者は同僚が運転するフォークリフトのフォークに乗り、場内に張っている高さ3～4mの日よけ網を直そうとしていた際、1.7mのフォーク上から体勢を崩し、頭からコンクリート床に墜落した。	70209	10～ 29
2012	7	3 ～ 4	トラックから荷を降ろすため、プラットホームよりフォークリフトをトラック荷台に進入させたところ、フォークリフト前輪が荷台に乗った際にトラックが前方に動き出したためフォークリフトがバランスをくずして落下し、その際に飛び降りた運転手が落下してきたフォークリフトの下敷きとなった。	40301	50～ 99

2012	12	11 ～ 12	鉄骨造の倉庫を解体する作業現場で、フォークリフトの爪にパレットを差し込み、パレットの上に乗って、地上高さ2.8mで作業を行っていた被災者がバランスを崩し、フォークリフトのマストとパレットの隙間から地面に転落した。	80109	1～9
2013	12	8 ～ 9	被災者は、空荷のフォークリフトを運転して道路幅2.8mの直線の未舗装の公道を走行中、路肩から約50cm下の畑に転落した。	60101	1～9
2013	5	14 ～ 15	冷蔵庫の棚に保管されているお茶の入った段ボールを取るため、フォークリフトのフォークに差したパレット上に労働者が乗り、高さ4mの棚から段ボール3個をパレット上に乗せた。フォークリフトの運転手は、パレット上の労働者がリフト側を向いて座ったことを確認し、フォークを下げることを了解を得て、フォークを下げ始めた。10～20cmほど下げたところ、パレット上の労働者が背中側から地上に墜落した。	10109	10～ 29
2013	6	18 ～ 19	被災者は、積込みを終えてシート掛けをしようと、フォークリフトのつめに足をかけ作業していたところ、誤って足を踏み外し、路上に落下し頭部を強く打した。	40301	30～ 49
2013	7	10 ～ 11	被災者は、フォークリフトを運転し、切断機用の電源を運び出すため、鉄構工場に向っていた。鉄構工場の床は約0.58m高いため、フォークリフトが上がるためのスロープ（勾配約8度）があった。被災者は、スロープを上ったが、旋回半径内に製品が置いてあったため、それを避けようとした運転操作をした際、スロープ近くの段差から転落した。	11209	100 ～ 299
2014	12	22 ～ 23	構内のプラットホーム上にて、フォークリフトを使用し、パレットの整理中、フォークリフトとともにプラットホーム下まで墜落。横倒しになったフォークリフトの下敷きとなった。	40301	100 ～ 299
2014	9	9 ～ 10	フォークリフトを運転し、高所作業車の荷台後部からフォークを差入れ、被災者が荷台上で高所作業車を運転し、フォークに乗せた際、高所作業車に被災者を搭乗させたままフォークリフトを移動させたところ、高所作業車が転倒。地上高さ約1.8mの作業床上から投げ出された。	40301	10～ 29

2014	6	15 ～ 16	被災者がフォークリフト運転者に対し搬器を下すように合図をし、搬器を下した際、被災者が意識を失った状態で倒れ、脳挫傷により死亡した。	50101	1～9
2014	5	10 ～ 11	フォークリフトのフォークに積み上げられた4個の漬け物容器の最上段の容器内を足場とし、天井に設置されている火災報知器の取付け、取り外し作業中、バランスを崩し、最上段の容器とともに墜落した。	30209	10～ 29
2014	1	13 ～ 14	被災者は、倉庫の底下に木製パレットを限界まで積み上げるため、フォークリフトで高さ2.24mにリフトしたパレットに乗り、庇の構造材に取り付けた角材に干している魚を作業の支障にならないよう移動していたところ、地面に墜落した。	10102	30～ 49
2015	12	14 ～ 15	屋内の荷捌場内で、年末大掃除の一環として作業場内の一角を天井からシートで囲う作業をしようと、本来は魚を入れるタンク（長さ2m、幅1m、高さ80cm、重量77kg）に被災者が乗り込み、別の労働者が運転するフォークリフトで高さ約4メートルまで上昇させてブルーシートを天井のレールに緊結する作業をしていたところ、バランスを崩してタンクごとフォークから墜落し、頭を強く打ち死亡したもの。	170209	10～ 29
2015	5	8 ～ 9	太陽光パネル据付工事。廃棄物入れの金属枠を、フォークリフトを用いて仮置き場へ運搬中に、道路から斜面にフォークリフトごと転落したもの。	30301	10～ 29
2015	6	11 ～ 12	被災者がフォークリフトを運転して、トレーラーから卸すにあたり、トレーラーに取り付けられた道板付近で脱輪し、フォークリフトが進行方向の左側に倒れ、共に転落した被災者の首付近がフォークリフトのヘッドガード付近の下敷きとなり被災したものである。	40301	10～ 29
2015	10	18 ～ 19	青果市場で積み荷を13トントラック（ウイング車）に積載し終え、荷台上部の隙間に緩衝剤を入れるため、フォークリフトのパレットを足場にして約2.4メートルの高さで作業を行っていた。作業を始めて2～3分後に被災者がパレット上から地面に墜落した。	40301	10～ 29

2015	10	10 ～ 11	産業廃棄物処理施設において、被災者はパレットに積んだ空フレコンを移動させるため、フォークリフトを用いて、当該センター構内隣の農道を後退しての走行中、当該フォークリフトが農道から外れて田に転落し、横転した。その際、被災者は当該フォークリフトの下敷きとなり死亡した。	150102	10～ 29
2016	12	15 ～ 16	第2倉庫1階入庫検品場のレイアウトを変更したのに伴い、配線を新たに設けるため、倉庫天井の配線工事をしようと、フォークリフトのフォークにパレットを8段積み、パレット上で作業をしていたところ誤って墜落（約5m）し、頭部を強打し死亡した。	40301	100 ～ 299
2016	10	19 ～ 20	精米器の更新のため本社から10名が来ていた。当日の作業を終えて退出する際、客先の工場機械室入口のシャッターが閉まらなくなった。当該事業場の労働者がフォークリフト（最大荷重1.8トン）のフォークにパレット6枚（高さ86cm）を積み重ねて上に2人が乗ると、高さ約3.5mの箇所 で被災者はバールを使用して修理をし、もう一人は状況を見ていた。このとき被災者がバランスを崩して地上に転落した。	30302	10～ 29
2016	9	16 ～ 17	陶芸工場内において、フォークリフトのフォークの上に乗って、高さ4メートルの梁に固定されたブルーシートを外す作業をしていたところ、約2メートルの高さから床に墜落して頭を強打した。	11301	1～9
2016	8	6 ～ 7	被災者は、事業場所有の資材置場にて、倉庫入口の軒下（高さ276cm）に保管した栈木を地上に降ろす作業中、フォークリフトのフォークの上に渡したコンパネの上（高さ168cm）から地面に墜落し、死亡した。	30209	1～9
2016	6	10 ～ 11	地上から283cmの高さにあった、特殊寝台用のマットレスを取り出すため、オーダーピッキングトラックに搭乗して上昇した被災者が、バランスを崩し地面に落下した（フォークが停止していた高さは、地上から182cmであった）。	80409	1～9
2016	6	13 ～ 14	被災者は、大型バスの窓枠を修繕するため、フォークリフトでパレットを高さ2m20cmまで上げ、その上に乗って作業を行っていた。作業終了後、他の労働者に命じてフォークリフトを後退させたところ、パレットから墜落した。	40301	1～9

2016	5	14 ～ 15	自社のリサイクル工場において、被災者は雑草を刈るため、最大荷重2.5トンのフォークリフトに芝刈り機を載せ、工場入り口付近へ向かったが、運転操作を誤り、3.3m下の調整池の縁にフォークリフトと共に転落した。	150102	10～ 29
2016	5	15 ～ 16	被災者は、敷地内の作業道（幅員4.7m）をフォークリフトで後進走行中、路肩から逸脱し、高さ1.8m下の沢へフォークリフトと共に転落し、車体の下敷きとなり死亡した。	10103	50～ 99
2016	4	13 ～ 14	倉庫内において、ピッカー車（バッテリー式フォークリフトで、運転席がフォークとともに上下するもの）から、約3m下の床に墜落した。	50101	10～ 29
2016	3	13 ～ 14	鶏舎で雛の出荷準備中、鶏舎2階にあった雛の入ったラック（約210kg）をトラックに乘せるため、フォークリフトで専用のパレット（金属製の手すり付き）を高さ約2.2mの2階床面まで持ち上げ、被災者がパレット上にラックを運搬して載せていたところ、パレットがバランスを崩して傾き、被災者がコンクリート地面に墜落、さらに、ラックが一度地面でバウンドしてから被災者の上に落下し、被災者が下敷きとなった。	70101	30～ 49
2016	3	14 ～ 15	フォークリフトを運転し、小型貨物自動車に積まれた牧草束（約900kg）の積み下ろし作業を行おうとしていたところ、高さ76cmのプラットホームからフォークリフトが転落し、フォークリフトの下敷きとなった。	170209	1～9
2017	12	6 ～ 7	事業主とともに社屋屋外に取り付けられた外灯の電球交換中、被災者はフォークリフトのヘッドガードの上で事業主に新品の電球を渡した。その後、「ドン」という音に気付いた事業主がフォークリフト後方で倒れている被災者を発見した。	30199	1～9
2017	10	12 ～ 13	ヤード内で鉄箱（縦1.2m横1.75m高さ1.0m）に入った空缶を回転フォーク付リフトで所定の置場に投下するため、スロープ（傾斜約6度）を横切り、置場へ近づいたところ路肩から転落（高さ0.98m）し、運転していた被災者がリフトと置場のコンクリート壁にはさまれた。	150102	50～ 99
		14	廃棄物を入れたロールボックスパレットをフォークリフトに載せて廃棄物用		

2017	9	～ 15	コンテナまで運んだ後、フォークをコンテナ上端まで上昇させて廃棄物をコンテナ内に投棄していたところ、バランスを崩してロールボックスパレットごと転落した。	11709	30～ 49
2017	8	～ 17	高さ約11メートルの天井に取り付けられている水銀灯の電球の交換を行うため、パレット37枚（1枚の高さ15センチメートル）の上に被災者を乗せ、別の作業者がフォークリフトでパレットを上昇させたが、電球を交換できなかったので、フォークを下ろしていたところ、右前方にパレットが崩れ、被災者がパレットから飛び降りて墜落し、地面に頭を打ちつけた。	40301	1～9
2017	8	6 ～ 7	フォークリフトを操作して荷のピッキング作業をしていた被災者は、後進中のフォークリフトごとプラットフォーム（高さ99cm）から墜落し死亡した。	50101	50～ 99
2017	6	8 ～ 9	トレーラーのシャーシに積載されたコンテナ（幅約2.3m、長さ約12m、高さ約2.7m）内から梱包された輸入製材（幅約1.1m、長さ約3.8m、高さ2.4m、重さ約4.8t）を、フォークリフトで荷卸しする作業中に、コンテナの後方に設置した作業台（幅約2.6m、長さ約9.2m、高さ約1.3m）上からフォークリフトが転落し、当該フォークリフトを運転していた被災者がその下敷きになり被災した。	80401	30～ 49
2017	6	10 ～ 11	被災者は、フォークリフトで魚のアラを岸壁沿いにあるゴミ捨て場へ運んでいたところ、フォークリフトごとコンクリートの岸壁から2.75メートル下の海底に転落し、フォークリフトと海底に挟まれ死亡した。	70209	10～ 29
2017	3	14 ～ 15	被災者はビニールハウスの屋根を張り替える作業を行う際に、フォークリフトのフォーク部分にパレットを9段積み、パレット上で作業を行っていたところ、墜落し死亡した。	70101	1～9
2017	3	8 ～ 9	被災者は、古紙等の運搬業務に従事するトラック運転手であり、災害発生場所に古紙を運搬し、トラックから荷下ろしをする際に、トラック荷台には作業するスペースがなかったことから、パレットをフォークリフトのツメに差し込み、当該パレット上を作業床として荷下ろし作業を行っていたところ、何らかの原因でパレット上から墜落し、コンクリート地面に頭部を強打し	40301	10～ 29

			た。		
2018	11	10 ～ 11	当該事業場内倉庫において、高さ約3.8メートルのフォークリフトのパレット上に乗って、商品をピッキングしていたところ、誤って墜落し、頭部を強打して被災したものの。	50101	30～ 49
2018	10	14 ～ 15	被災者が倉庫内の荷を移動させるため、ピッキングリフト（運転者が荷台に乗り昇降して荷役作業できるフォークリフト）に乗り、高さ2.43m上のパレット又は運転席（どちらで作業していたかは不明）で荷役作業をしていたところ何らかの理由で墜落した。なお、ピッキングリフトの運転席には手すりが設けられ、ヘルメット及び安全帯が置かれていたが、被災者は安全帯及びヘルメットを着用していなかった。	11301	30～ 49
2018	8	16 ～ 17	倉庫1階天井の蛍光灯を交換するため、パレット上に被災者を乗せ高さ約5mの位置までフォークリフトで上昇させた。被災者は蛍光灯の交換後、周辺の蜘蛛の巣を取り除く為、フォークリフト運転者が濡れ雑巾を持ってくるまでの間、上昇したパレット上で待機していたところ墜落した。	40301	1～9
2018	2	8 ～ 9	被災者が、フォークにバケットを装着したフォークリフト（最大荷重1,250kg）を使用し、事業場に隣接する農道で除雪作業を行っていたところ、路肩より、約4メートル下にある用水路に、フォークリフトごと転落し、フォークリフトの下敷きとなり死亡したものの。	11305	10～ 29
2018	2	8 ～ 9	被災者がフォークリフトのカウンターウエイトの上に設置されたワイヤロープの位置を直そうと、カウンターウエイトの上に登っていたところ、ふらついて後ろ向きに倒れ地上まで落下し、一時心肺停止となった。その後、被災者は心肺停止蘇生後脳症と診断され、後日死亡した。所属事業場は、荷役作業に使用する道具の運搬業務のみを委託されたものである。	50101	10～ 29
2018	1	18 ～ 19	被災者が、倉庫のラック3段目（高さ約2.3m程度）の荷物を取るため、ピッキングリフトを昇降させ、ピッキングリフト運転席からラック上の荷物を取ろうとしたところ、バランスを崩し墜落した。被災者は、保護帽を着用していたが、安全帯は着用していなかった。	80401	30～ 49
			被災者は操縦席とともにフォークが上下に昇降するピッキングフォークリフ		

2019	10	8 ～ 10	トを使用し、地面からの高さ2メートル以上に上昇した操縦席上で、隣接した棚から製品の補充作業を行っていた際に地面に墜落したもの。ピッキングフォークリフトの操縦席には可動式の手すりが設置されていたが、被災時には当該手すりは上にあげられており、また、ヘッドガードには安全帯が取り付けられてあったが、被災者は使用していなかった。	11305	1000 ～ 9999
2019	9	10 ～ 12	鉄骨造の倉庫解体工事において、被災者は門型に組み立てられた鉄骨の梁部分にスリングベルトにて玉掛するために、フォークリフトのフォークに差し込まれたパレットに乗り、高さ約3.1メートルの個所で作業を行っていたところ、当該鉄骨の基礎部分が腐食していたため、当該鉄骨が突然倒れ、被災者は当該鉄骨と共に地上に墜落し、当該鉄骨と地面との間に挟まれ、死亡したものである。	30209	1～9
2019	7	10 ～ 12	フォークリフト（オーダーピッキングトラック）の傍で、被災者が頭部から出血して倒れている状態で発見されたもの。災害発生直後にフォークリフトの運転席が高さ約3mの位置にあったことから、運転席の位置でラックから荷を取ろうとした際に墜落したものと推定される。	50101	100 ～ 299
2019	7	14 ～ 16	スクラップ用鉄製空パレット（約100kg前後のもの）を、被災者及び同僚2名にて顧客先に出向き、トラック荷台上に搬送作業中、被災者がフォークリフトを運転し、当該空パレットを顧客先の敷地境界付近に降ろした後、敷地外の市道方向に後進させたところ、市道脇に添った用水路（市道より約1.6m下にあり側溝深さは約30cm）にフォークリフトごと転落し、当該フォークリフトの下敷きになったもの。	11009	1～9
2019	4	4 ～ 6	被災者は、プラットホーム上に仮置きしていた荷（パレット2段積み）のうち、2段目の荷を所定の位置へ運搬するため、フォークリフトを運転し、フォークを2段目パレットの高さまで上昇させた後前進させたところ、急加速し、プラットホーム端部から1.3m下の地面までフォークリフトごと転落した。運転席から投げ出された被災者は、フォークリフトの下敷きとなり死亡した。	40301	30～ 49
		10	フォークリフトの爪の部分に労働者を乗せて、棚に置かれた荷物（5キロ）		

2019	3	～ 12	を取ろうとしたところ、爪の部分から足を踏み外して約2.5メートル下のコンクリート床上に墜落し、頭部を強打し死亡した。	11709	1～9
2020	11	2 ～ 4	深夜、事業場4階倉庫フロアーにおいて、オーダピッキングトラックを運転し、荷下ろし作業に従事していた被災者が倒れているところを発見された。発見当時、オーダピッキングトラックの運転席は地上約4メートルの高さに停止しており、被災者の傍には荷の段ボール箱が1箱落下していたことから、作業中に墜落したものと思料される。被災者は首の骨を骨折しており、後日死亡した。	50101	50～ 99
2020	9	8 ～ 10	被災者は、フォークリフトを運転し、空パレットの移動作業を行っていたところ、前進操作中にプラットフォーム端部からフォークリフトごと転落し、下敷きになり死亡したもの。	50101	30～ 49
2020	1	14 ～ 16	被災者は、フォークリフトのパレットに乗って工場の中二階に登り、そこにある籠を取り出して籠とともにパレットに乗った。そして被災者と籠を降ろすためパレットを上げた状態でフォークリフトを後進させたところ、被災者が床面に墜落したもの。	10102	1～9
2020	1	16 ～ 18	第一倉庫内において、最大荷重2.5トンのフォークリフトのフォークにパレットを差し込み、約3メートルの高さまでリフトし、そのパレットの脇に梯子を立てかけていたそばで、被災者が倒れているところを発見され、救急搬送された。被災者は後日脳挫傷により死亡した。発見時、被災者は保護帽、墜落制止用器具は着用していなかった。	170209	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html